

『平昌五輪スピードスケート女子500M金メダリスト 小平奈緒さんの神対応』

御代田中学校校長 勝見藤一

平昌オリンピックが、2月9日～25日までの17日間、お隣の韓国で開催されました。長野県出身の小平奈緒さんは、2月18日（日）に行われた、スピードスケート女子500Mで36秒94のオリンピック新記録を出して金メダルを獲得しました。

実は、そのレースで、皆さんもテレビを見ていて、気づかれた人もいるかと思いますが、自分が滑ったレースの直後にオリンピック3連覇を目指して、地元韓国の期待を一身に背負った最大のライバルである季相花（イ・サンファ）選手への気遣いがありました。

小平奈緒さんは、オリンピック新記録を出し金メダルを確信して沸き立つ日本のスタンドに向かって、人差し指を口に当て、「静粛に」と無言で呼びかけていたからです。テレビの画面で私は3回ほど確認しました。

小平奈緒さんは、想像を絶する重圧に打ち勝ち、会心の滑りでオリンピックレースの最速タイムをたたき出しました。心の中では、金メダルが見えてきて、抑え切れないほど気持ちが高揚していたはずですが。

その状況で彼女は地元の期待を一身に背負ってスタートラインに立つライバルのことを気遣ったのでした。「これがスポーツなんだよ」と後世に語り継ぎたいような美しいシーンでした。

今シーズン、ワールドカップ無敗の小平奈緒選手と、オリンピック3連覇を狙う季相花（イ・サンファ）選手。開幕前から一騎打ちがクローズアップされていました。どれくらい辛い練習に耐え計り知れない重圧に立ち向かい、どれほど我慢してきたか、それを誰よりも知っているのは、親でもコーチでもなく世界の頂点を争ってきたライバルなのです。

金メダルが決まると、小平奈緒さんは真っ先に泣きじゃくる季相花（イ・サンファ）選手のもとに寄り添いました。そして「今でも私はあなたを尊敬しているよ」と耳元にそう声を掛けたということです。この場面にふさわしい、何と美しい言葉でしょう。敗北も挫折も知り尽くした者だけが持つ優しさと敬意に満ち溢れたシーンでした。

韓国では、政治の対立を超えた日韓の友情と報じられていて、インターネットでは、「小平奈緒の神対応」と賞賛されています。まさに、このシーンは国籍や政治も関係のない尊いスポーツの姿だと感じました。

小平奈緒さんが金メダルを獲得したのは、運が良かったわけでも偶然のことでもないと思います。まさに「金メダルを取るべくして取った」ということが分かります。

平成30年度生徒会始動！

生徒会長 新井 愛依

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。4月から中学生となり約1か月が経過しましたが、まだまだ不安なことがたくさんあると思います。そんな時には、気軽に先輩や先生方に相談し、勉強や部活動などを充実させて、楽しい学校生活を送っていきましょう。

いよいよ、生徒会活動も本格的にスタートしていきます。しっかりと自分の意見を持ち、積極的に参加してください。

全校でより良い御代田中学校をつくっていきましょう。

★ 新入生155名が中学校生活をスタート【生活記録より】

元気よく、あいさつが響き、めりはりをつけた学校生活がスタートしました。

入学式からまだ1日しかたっていないけど、男の子とも女の子とも一緒に話せたりできて良かったです。優しい人や面白い人もたくさんいて、あと少したったらたぶん楽しいクラスになると思います。南小の男子とはあまり話せなかったのので、次の週で話せたらいいなと思いました。すごく楽しくていいクラスなので、1年間の行事などをみんなと協力して楽しみたいです。（1-2生徒）

音楽の授業で、校歌の意味を考えて書きました。「郷土にそびゆる浅間山～」からすべて書いたけど、驚いたのは「すいをとり」の所で、”混じり気なくとても優れている文化”と言うことみたいです。実現できるようにがんばります。

（1-4生徒）



御代田中学校校歌
郷土にそびゆる浅間山
麓にひろく高原の
地名もゆかし雪窓に
広く文化の粋をとり
建つ三層の学び舎は
我等が誇る中学校
（一番）

あさひやま

御代田中学校校章より

平成三十年度 第一号



2018 年
5 月 9 日

5 月の主な行事

- 14 日 授業参観
部活動参観
- 16 日 小北学事職員会
- 18 日 2 年クラスマッチ
- 21 日 1 年クラスマッチ
- 24 日 中間テスト
- 29 日 3 年クラスマッチ
- 26 日 東信陸上大会

6 月の主な行事

- 9、10 日 佐久大会
- 23、24 日 東信大会
- 28 日 授業参観
- 30 日、7 月 1 日
陸上県大会

学校目標
美しく
雄大な
浅間山に学ぶ

★入学式 新入生代表挨拶より（1ー5 井上らら さん）

私たちは、緊張と、新しい仲間に出会える喜びを胸に、今日この日を迎えました。これから、共に学び、活動し、喜びを分かち合える友達や先生方に会えることをとても楽しみにしていました。小学校では、最高学年として、低学年のお手本になるように導いていく立場でしたが、これからは、中学校の先輩方から沢山のことを吸収して、成長していきたいと思っています。

小学校では、管楽器クラブに入り、そこで大切な仲間達に出会いました。そして、一生懸命練習し、きれいなハーモニーを作り上げていきました。練習はとても大変でしたが、一生忘れない素晴らしい経験になりました。

中学校では、運動部や美術部など管楽器以外にもたくさんの部活があり、これからいろいろなことを経験できると思うと、とても楽しみです。中学校の勉強は、小学校の時と比べると教科も増えて、難しくなると思いますが、小学校で学んだ基礎を忘れずに、頑張って勉強していきたいです。まだ、中学校のことはよく分からないので、先生方や先輩方に教えて頂きながら覚えていきたいです。よろしくお願いいたします。

この御代田中学校で、ここにいるこの仲間達と精一杯勉強し、共に経験し、たくさん笑い、時には泣いて、一生の宝になるような輝かしい3年間を送りたいと思います。

★修学旅行から学びを深めて帰校した3年生

修学旅行の思い出（修学旅行新聞から抜粋）

～タクシー見学から～

班別見学の中で一番心に残った寺院は、八坂庚申堂です。他のお寺や神社と違い、境内はとてもカラフルでした。このカラフルの正体は「くくり猿」で、その猿に自分のお願いを書いてくると願いが叶うというものです。

～着付け体験から～

着付け体験では、一人ひとりお店の方に着付けをしていただきました。着物を着るのが七五三以来です。みんなとても似合っていました。ウエストをギュッと縛られ少しきつく感じましたが、普段はなかなか体験できない着付けがクラスみんなで行えるのは一生に一度だと思うので、すごく貴重な体験でした。

～編集後記から～

新聞を書くために修学旅行の事を思い出すと、なんだか泣きそうになってきました。もう2、3回行きたいなと思いながら書いていました。もうすぐ最後の大会なので、生きる目標を「修学旅行で歴史や文化を深く学ぶ」から「県大会出場」に切り替えて生活していきたいです。



～東大寺の見学から～

奈良の大仏と言われる「東大寺盧舎那仏像」が、想像以上の大きさで、とても迫力がありました。奈良公園には鹿がたくさんいました。鹿におせんべいを見せると、ちゃんとお辞儀をしてくれました。

～北野天満宮の見学から～

学問の神様で知られる「菅原道真」が祀られている神社で、受験生の私たちにはピッタリな神社です。境内にはたくさんの梅の木や牛の像がありました。神社の方に「特別昇殿参拝祈祷」をやっていただきました。境内にいた牛の像の頭を（なでると頭が良くなるというので）たくさんなでました。



これまで お世話になりました。

【平成29年度末に転任された先生方】

阿部 千浩 先生	川上村立川上中学校へ
武内 洋文 先生	小諸市立小諸東中学校へ
手塚 正雄 先生	佐久市立中込中学校へ
丸山 俊恵 先生	小諸市立芦原中学校へ
大久保美和 先生	佐久市立浅間中学校へ
工藤 智朗 先生	佐久市立浅科中学校へ
伴野 雄大 先生	小諸養護学校へ
竹内 早綾 先生	山ノ内町立山ノ内中学校へ
篠澤 幸平 先生	佐久穂町立佐久穂中学校へ
須江 絢子 先生	東京都府中市立南町小学校へ

これから よろしくお願ひします。

【平成30年度より赴任された先生方】

土屋 浩 先生	軽井沢町立軽井沢中学校より
竹田 靖 先生	稲荷山養護学校より
上原 市江 先生	佐久市立浅間中学校より
花岡 直美 先生	佐久市立野沢中学校より
相澤 秀紀 先生	南牧村立南牧中学校より
田原 恵 先生	大町市立美麻小中学校より
清水あさぎ 先生	新規採用（長野県内大学院修了）
松平 珠美 先生	立科町立立科中学校より
荒井 好貴 先生	新規採用（長野市立北部中学校より）
野本 昇汰 先生	新規採用（埼玉県内大学卒業）